



ロータリーは
分かちあいの心

WEEKLY REPORT

ROTARY CLUB OF NAGOYA MEINAN

URL <http://www.meinan-rotary.com> E-mail info@meinan-rotary.com



07-08年度 RI会長
ウィルフリッドJ.ウィルクンソン

名古屋名南ロータリークラブ

■承認/1991年3月8日 ■例会日/火曜日・PM6:30
■例会場/名古屋マリオットアソシアホテル
■事務局/〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号
名古屋マリオットアソシアホテル2202号
TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054
■会長/大隅 紀郎 ■幹事/杉山 隆秀 ■会報委員長/西村 己恵子

第814回

2008年4月22日(火) 晴 第38回

～雑誌月間～

斉唱 奉仕の理想
出席 会員73名(出席率算入人数68名)
出席50名 出席率73.53%
前々回補填率92.75%(4月8日分)

◆会長あいさつ◆

会長 大隅 紀郎さん

世間が値上げ、値上げで、騒がしくなっております。建築も、印刷も、私の非鉄金属業界も、みんな値上げラッシュで、物が止まってしまっ、受注量が減ってきているのかなという気もします。衣料品関係も非常に悪いということです。あと半年ぐらいは戻らないんじゃないかと思えます。



多分、オリンピックが終わると、中国の正気とは思えない需要というものもちょっと一段落するのではないかという予想は立てております。アメリカの景気回復よりは、日本の景気回復のほうが遅いですから。日本の場合ですと、秋口まで延びるかもしれません。皆さん、心してやっていただけたらと思います。

◆幹事報告◆

幹事 杉山 隆秀さん

- 事務局のお休み 4月29日～5月6日
緊急の要件は、幹事の杉山までご連絡ください。

◆ニコボックス◆

- *ローターアクトクラブに出席してきました。新会員も増えてきていて活気のある例会となっていました。
鈴木 厚司さん
- *今週の土曜日は東南RCとの合同囲碁会です。参加者の方ありがとうございます。
浅井 浩さん
- *今日は私の誕生日です。皆さんのテーブルにビールを1本ずつおきましたので、ささやかにお祝い?
大隅 紀郎さん
- *4月19日、20回目の社内バーベキュー大会、136名を迎え無事終了。
森田敏二三さん
- *今日はホットな1日でした。
坂本 晃さん 山本 誠一さん 佐々木 眞さん

菊岡深智子さん	伊藤 博昭さん	武藤 正行さん
柴田 照子さん	犬飼りさ枝さん	山崎 淳さん
新原 尚さん	東山 直史さん	黒田 康正さん
細井 俊男さん	宮寄 良一さん	中村 勝さん
中西 芳子さん	杉本 勇さん	三浦 和人さん
林 正人さん	加藤 宜之さん	大橋さなえさん
朝比美和子さん	平沼 里子さん	水谷 誠さん
本日合計	33,000円	累計 1,793,000円

◆地区協議会報告◆

●次期社会奉仕委員長 川村 繁生さん

4月13日の地区協議会では、社会奉仕部門ということで、社会奉仕、環境保全、RCCについて講義をいただきました。まず、司会の次期地区副幹事の白木さんからいろいろご紹介をいただきました。我々のリーダーで、次期社会奉仕委員長の西脇さんからは、社会奉仕に関するテーマとして「楽しく、住みよい社会のために」というような命題でお話をいただきました。アドバイザーとして、パストガバナーの斎藤直美さんから5点ほど、社会奉仕に関する1923年の声明の内容、修正に至った理由、1922年声明文、また「社会奉仕を考え、ロータリーを考えよう」という題目でご講義をいただきました。



1923年の声明文ということでお話いただいたのは、「ロータリーは基本的にはひとつの人生哲学であり、それは利己的な欲求と、義務およびこれに伴う他人のために奉仕をしたいという感情との間に、常に存在する矛盾を和らげようとするものである。」この哲学は「超我的奉仕」の哲学であるというお話をいただきました。

社会奉仕に関しては、ロータリー財団へ申請をして補助金をいただく補助金プログラムについてお話がありました。我々名南RCも、東南RC、南RC、瑞穂RCと一緒に、毎年補助金を受けて、いろいろな奉仕をやっております。補助金の申請は5月の半ばぐらいにしなければなりませんので、次期社会奉仕委員長が決まった時点で、内容を説明しておかなければ補助金の申請が間に合わないのではないかという意見がありました。私の次の社会奉仕委員長のかたには、そういうことをお伝えして、早めに申請を出して頂こうと思います。補助金は額が決まっております、申請を打ち切られるということもあるようなので、早く手を打たなければなりません。

第816回例会(5月20日)のご案内

フリートーキング

環境保全委員会も社会奉仕の中の委員会でございますので、アシスタントリーダーの次期環境保全委員長長の長瀬さんから話をいただきました。環境保全委員会の指針として、最大の目的は各クラブの広報支援と情報提供ということです。また、21世紀は環境の世紀になりますので、脱温暖化、資源を循環させること、自然との共生、環境活動への参加、そういうようなこととお話しされました。

それからRI2760地区の環境保全週間を設定することを、今年度の片山ガバナーが提唱されました。2009年5月30日から6月の5日まで。5月30日は「530の日」、1975年の豊橋RCを中心として、全国に波及した環境の日が6月5日ということで、そういうふうに定められています。それから情報の提供ということと情報の共有化、こういうようなことを各RCとも気をつけてお話をしていきたいということもおっしゃって見えました。

●次期国際奉仕委員長 東山 直史さん

地区協議会の分科会は第1分科会から第9分科会までございますが、私は第5分科会に参加しました。国際奉仕委員、青少年交換委員、世界社会奉仕(WCS)委員、このようなかたがたが各RCからお集まりになりました。そして執行部のほうには、次期国際奉仕委員長、次期青少年交換委員長、次期世界社会奉仕委員長が参加され、アドバイザーとして、バストガバナーの豊島さんが参加されました。私たちの会議のテーマは、「ロータリーの手で、世界の子どもたちの幸せと平和を」でした。これは、各会員がいろいろな状況、状態の子どもたちに、我々ができうる力添えをする、そうすれば、世界の子どもたちが仲良くなって、彼らが大人になれば、過酷な戦争が地球上からなくなるのではないかと、そういう理念を持って、会員の皆様がたに、金銭的に脳で汗をかき、体でも汗をかいていただきたいというのが主な目的であるというようなことでございます。

まず、会長のメッセージとしまして、2008-2009年度の事業計画からお話をされました。私どもの2760地区において、第5分科会の主要事業計画は、あまり会員の皆様がたには知られておりません。PR、啓蒙として、卓話にお招きをいただければ幸いですということをおっしゃっていました。

それから、3360地区のタイ、チェンマイの支援をしておりますが、それは日タイロータリー愛知奨学基金の贈呈ということでされています。それには資金として大体1,200万の基金があるようで、それにタイ政府のご協力で6%の金利を付け、その金利分で、9,000円を、年70名の奨学生に支給しているという状況らしいです。

それからラオスへの支援。これはナタックとか、ポンドというような村で、3校の小学校と中学校の建設を援助しています。ほかに検討しているプロジェクトとして、ベトナム、ミャンマー、バングラデシュなどで計画を立ち上げているようです。2760地区には少人数のサークル的なRCが多数あり、そのようなRCの提案されることをグロスで固めて、ひとつのプロジェクトとしてこの会で運営し、皆様にご協力いただきたいと、このようなことが年度計画でありました。

それから国際奉仕については、世界の子どもたちに、大人がどのような相互理解ができて、奉仕の中へどれだけ入り込むことができるだろうかと、こういうことを考えながら計画を立てているそうです。国際奉仕は、ロー

タリーの第4奉仕部門です。国際奉仕とは、ロータリアンが国際理解、親善、平和を推進するために実施できるすべてを言い、概念上、四つのことがあるとしています。世界社会奉仕活動(WCS)、国際レベルの教育・文化の交流の活動、特別月間としてのいろいろな催し、国際的な会合、この四つをグロスしまして、他国の人々と交流して、文化、習慣、業績を知る、また、旅行とか国際大会に出席して個人の交流をする、そういうこと含めて、個々のロータリアンとRCは、目的達成に対して積極的に寄与することを期待しますということでもございました。

それから、テーマでは、青少年の交換についてということで、青少年交換委員長から発表がございました。ここでは、現在日本に留学しているフランスの女子高校生と、オーストラリアへ留学している日本の女子高校生の体験談がありました。

世界社会奉仕(World Community Service)について、どのように対処し、処理するのか、それに対してどのようにクリエイティブな協力をしていくのかというようなことが議論されました。3つのH、Health、Hunger、Humanityを議題としながら、意義深く検討したいというお話でした。健全な水の確保、周辺環境の保健衛生、飢餓の問題、識字率、就学率の向上、こういうものをメインテーマにして事を運んでいきたいということです。その中で、三つのHをきちんとクリアランスできるのは、ロータリーの究極の目的である世界の平和ではないか。各RCごとにプロジェクトを構築して、世界の子どもたちに貢献してほしいと、そのようなお話がありました。

最後に危機管理についてですが、ロータリーでは海外への留学もあり、人為的・物理的に大きなリスクを背負います。その場合に、2760地区の中で危機管理のシステムを立ち上げたいという提案がされました。

●次期ロータリー財団委員長 西村己恵子さん

私の代理で地区協議会に出席して頂いた、副委員長の林隆二さんのレポートを読ませていただきます。

「地区協議会第7分科会は、テーマ『ロータリーに心を』で始まりました。ロータリー財団を理解し、年次寄付委員会より『毎年あなたも100ドルを』ぜひお願いをしたい。3年後、DDF(地区財団活動資金)として戻ってきます。教育プログラム、人道的プログラムとして、大いに活用していきたいです。名南RCは地区補助金、国際親善奨学生など、他のRCと比較して、うまく利用されていると思いました。有鄰学院のパソコンなど、地区補助金を有用したのではと感じました。

それから、アメリカのゲイツ財団より1億ドルの寄付を受けたが、RCにおいて同じ金額を集めることが条件で、日本において「会員1名当たり1,000円、3年間」を集めることになりました。ご協力をぜひお願いしますという要請がございました。7月以降、1年間、100ドルと1,000円のご協力をお願いいたします。

GSE(研究グループ交換)は、ロータリー財団の有効な事業で、来年度、アメリカ、オハイオへの派遣が決まっております。派遣者を紹介したいとの要請でありました。そのパンフレットは、次回、5月の第2火曜日、袋の中に入れておきますので、ぜひごらんになってください。」

